

熊本

※2024年春実施の全国公立高校入試情報は、2023年12月1日現在によるものです。

1. 日程

[前期（特色）選抜・中高一貫教育（連携型）選抜]

○面接等

2/1

○内定通知

2/9

[後期（一般）選抜]

●学力検査等

3/5・6

○合格者発表

3/13

※追検査 3/14

2. 学力検査

[後期（一般）選抜]

国語：50分・50点

数学：50分・50点

英語：50分・50点

理科：50分・50点

社会：50分・50点

<250点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

○英語聞き取りあり

○国語課題作文あり（例年）

○数学・英語…高校が解答する問題を指定する学校選択問題あり。英語の学校選択問題にはリスニングテストも含まれる。

3. 調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階（絶対評価）

○2年…5段階（絶対評価）

○3年…5段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

3年重視（3年は評点が2倍）

○5教科

1年：5段階＝5点

2年：5段階＝5点

3年：5段階×2＝10点

教科ごとに上記合計20点を学力検査の得点により補正。

1教科20点×5教科＝100点

○実技4教科

1年：4教科×5段階＝20点

2年：4教科×5段階＝20点

3年：4教科×5段階×2＝40点

合計80点

<180点満点>

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

同等

[判定方法]

両順位重複方式

○第1選考…学力検査点，調査書点の順位がともに定員以内にある者から選考。

○第1選考後の選考…第1選考での合格者数が募集人員に満たない場合，学校ごとに選抜基準を定めて残りの合格者を選考する。

5. 推薦入学等

■前期（特色）選抜

普通科のコース，専門学科，総合学科，スーパーグローバルハイスクール指定校のうち，希望する学科・コースで実施。中高一貫校は除く。

合格した場合は，必ず入学することが条件。

[検査内容]

学校独自検査

※面接，小論文，実技検査，実験，自己表現等，各高校が独自に検査を行う。

ただし，定員に対する比率が50%を超える高校は，A群(面接，実技検査など)・B群(小論文，実験，自己表現など)からそれぞれ1つ以上の検査を実施する。

[定員に対する比率]

熊本市内の高校…50%以内

熊本市以外の高校…70%以内

■中高一貫教育(連携型)選抜

小国

当該高校と連携している中学校の卒業見込みの者で，合格した場合必ず入学する者が対象。

高校が課す課題の提出あり。

[検査内容]

面接，作文

※本選抜で定員が充足した場合も、後期(一般)選抜で若干名を募集する。

■中高一貫教育(併設型)

併設型中学校を卒業し、当該併設型高校への入学を希望する者には、選抜を行わない。

6. 備考

前期・後期選抜ともに、県外からの出願者への入学許可は、それぞれ募集人員の5%以内。ただし、県境の市町村に所在する高校については、教育委員会の指定する範囲で変更できる。

■後期(一般)選抜

○普通科(コースを除く)・大津の理数科・上天草のグローバル文理コースにおいて、学区外からの出願者への入学許可は、募集人員の13%以内。また、特色のある学科・コースでは40%以内とすることができる。

○美術・芸術に関する学科・コース、スポーツに関するコースでは、実技検査を実施する。また、職業教育を主とする学科には面接を課すことができる。

○特別措置の対象に該当する海外帰国生徒等で、希望する者は、特別措置適用申請書を提出。全学科・コースで、次の特別措置を受けられる。

[選抜検査] 5教科のうち志願者が選択した3教科の学力検査と作文、面接

※追検査

新型コロナウイルス感染症等、やむを得ない理由で後期(一般)選抜の学力検査を受検できなかった場合、追検査を受検できる。

[学力検査の傾斜配点]

○理数科、普通科の理数コース…数×2、加えて理科×2とすることができる。

○英語科、普通科の英語コース・国際コース…英×2

○職業教育を主とする学科…学科の特性に応じた教科×2とすることができる。

○全日制の単位制高校(総合学科を含む)…次のa、bのいずれかを選択することができる。

a. 高得点の2教科×2

b. 自己申告した2教科×2